

一般社団法人 長崎県言語聴覚士会

法人化への道のり

長崎県言語聴覚士会 会長 田上 由貴子

平成28年6月25日、行政はじめ各医療、福祉の関連団体の来賓の方々にお越しいただき、一般社団法人長崎県言語聴覚士会設立記念式典および記念講演会を開催いたしました。記念講演では、深浦会長に「日本言語聴覚士協会の活動と今後の展望～若き言語聴覚士に期待すること～」と題しお話しいただきました。広い視野とそれに対応できる技術・提案力を持ったSTになりたいと若い会員の声も聞かれ、大変有意義な時間となりました。



▲深浦会長による挨拶

▼当会会長による挨拶



当会は30年ほど前に始まった九州各県持ち回りでの研修会を担当したことをきっかけに、県内のSTの交流を続けていましたが、第1回の国家試験合格発表を機に有志が発起人となり、平成11年7月、会員45名・準会員14名で長崎県言語聴覚士会を設立しました。10名ほどから細々と始まった当会も今や320名を超え、活動の内容も多岐にわたっ

ています。

長崎県は多くの離島を抱えており、地域リハビリテーションが活発に行われてきた歴史があります。そういう背景から(公社)長崎県理学療法士協会、(一社)長崎県作業療法士会との連携も取りやすい地盤がありました。しかし、行政との連携や地域の事業展開においては二士会に及ばないことばかりです。三士会協働での事業が増え、他の関連団体との連携が深まるにつれ、社会的信用を上げ活動範囲を広げるためにも法人化は必要であると痛感し準備を始めました。

一昨年、まずは理事が法人化の意味や手続きなどについて理解を深めるべく、先に法人格を取得された熊本県言語聴覚士会に協力いただき勉強会を開きました。その後、ワーキンググループを立ち上げ、組織の見直しを行い、総会にて法人化移行への承認を得ました。また定款案に関して専門家の方を交え議論を重ね、会員に意見を問う期間を設け、今年1月の臨時総会で会員の同意を得ました。3月に公証人による定款認証を受け、4月5日に登記申請手続きを行い、無事法人格を取得するに至りました。

形になるまでは大変なこともありましたが、当士会にとっては大きな自信となりました。とはいえまだまだ未熟さを感じるところも多々あり、新たなスタートを切ったばかりです。今後予想されるさまざまな社会情勢の変化に迅速に対応できるような職能団体であるために、より一層努力していきたいと考えております。

法人化に当たりご協力いただいた皆様、この場を借りて感謝申し上げます。



記念式典の様子